

北本市防災マップ



●地震ハザードマップ ●洪水ハザードマップ

地震や洪水などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日ごろから防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。災害に備え、自分の家の安全対策や、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。北本市では市民の皆様と財産を守るため「北本市防災マップ」を作成しました。防災対策には、絶対大丈夫というものはありません。自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

平成29年3月 北本市

わが家の防災対策(家屋)

耐震診断・耐震改修の支援制度
北本市では、地震などの災害に強いまちづくりを目指し、建築物の耐震化の目標を定め、建築物の耐震診断、耐震改修工事の促進を図ることを基本方針とした「北本市住宅・建築物耐震改修促進計画」を平成19年度に策定し、平成27年度に改定を行いました。その施策として木造住宅の耐震化を促進することを目的とした無料耐震診断、耐震診断・耐震改修計画費の補助、及び耐震改修工事費の補助を行っています。

耐震診断補助制度	耐震改修計画補助制度	耐震改修工事補助制度
対象となる建物 市内に現存する木造住宅で、昭和56年5月31日以前の建築基準法に基づき着工された地上2階以下の在来軸組工法または枠組壁工法による一戸建て住宅（住居部分が1/2以上の店舗等を兼ねるものを含む）		

北本市都市整備部建築開発課指導担当 電話：048-594-5550(直通)

わが家の防災対策(家内)

- 窓ガラスには、飛散防止フィルムを全面に貼ります。
- カーテンは防災加工のものにしましょう。
- ガラスの破片によるけがを防止するため、スリッパなどの室内履きを身近に用意しておきましょう。
- 防災入れを入れましょう。
- 常時水をためておきましょう。
- 火元に消火器を設置しましょう。
- 基礎を補強しましょう。
- 懐中電灯、ラジオ、非常食、缶などが入った非常持ち出し袋を常備しましょう。
- 寝室には物をおかないようにしましょう。
- タンクなどの背の高い家具はL型金具や支え棒で固定しましょう。
- 扉に留め具をつけましょう。

非常持ち出し品

避難に備えて、日ごろから非常持ち出し品をまとめ、定期的に点検しておきましょう。

貴重品	懐中電灯	救急医薬品・常備薬
現金(10円があると公衆電話利用に便利)、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、権利証など。	できれば1人に1つ。予備電池も用意。	ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のある方は常備薬など。
非常食・水	携帯ラジオ	その他
最低3日分は用意しましょう。そのまま食べられるものが便利です。	AM、FM両方が開けるものを。予備電池も用意。	ティッシュ、筆、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品、北本市防災マップなど。

タオル・下着・靴下など

3日分以上の水・食料の備蓄をしましょう

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、最低3日分(できれば1週間分)の水と食料を備えておきましょう。

特に、首都直下地震など大規模災害の場合には、食品や生活物資が店頭から売り切れるなど、物流機能が低下することや、ライフライン(電気・ガス・水道)が停止することも想定されています。水と食料は、命を守り、英気を養うことにつながりますので、自分と家族の3日分以上は、必ず備えておきましょう。

ローリングストックのすすめ
保存性の良い食品を少し多めに「買い置き」し、その備蓄(ストック)した食品を、日常的に食べて、食べた分を買い足す「ローリングストック」が無駄なく有効です。

災害用伝言サービス

災害時の声の伝言板「災害用伝言ダイヤル171」

●自分の無事を知らせるために録音する。
伝言を録音する 171 → 1 → 自宅の電話番号(固定電話の番号は、市外局番から入力してください) → 1 → [録音]する(30秒以内)

●相手の無事を確認するために再生する。
伝言を再生する 171 → 2 → 相手の電話番号(固定電話の番号は、市外局番から入力してください) → 1 → [再生]が始まる

災害時の文字の伝言板「災害用伝言板」
携帯電話を利用して安否情報を登録でき、家族や知人の安否確認を携帯電話やパソコンから確認できます。

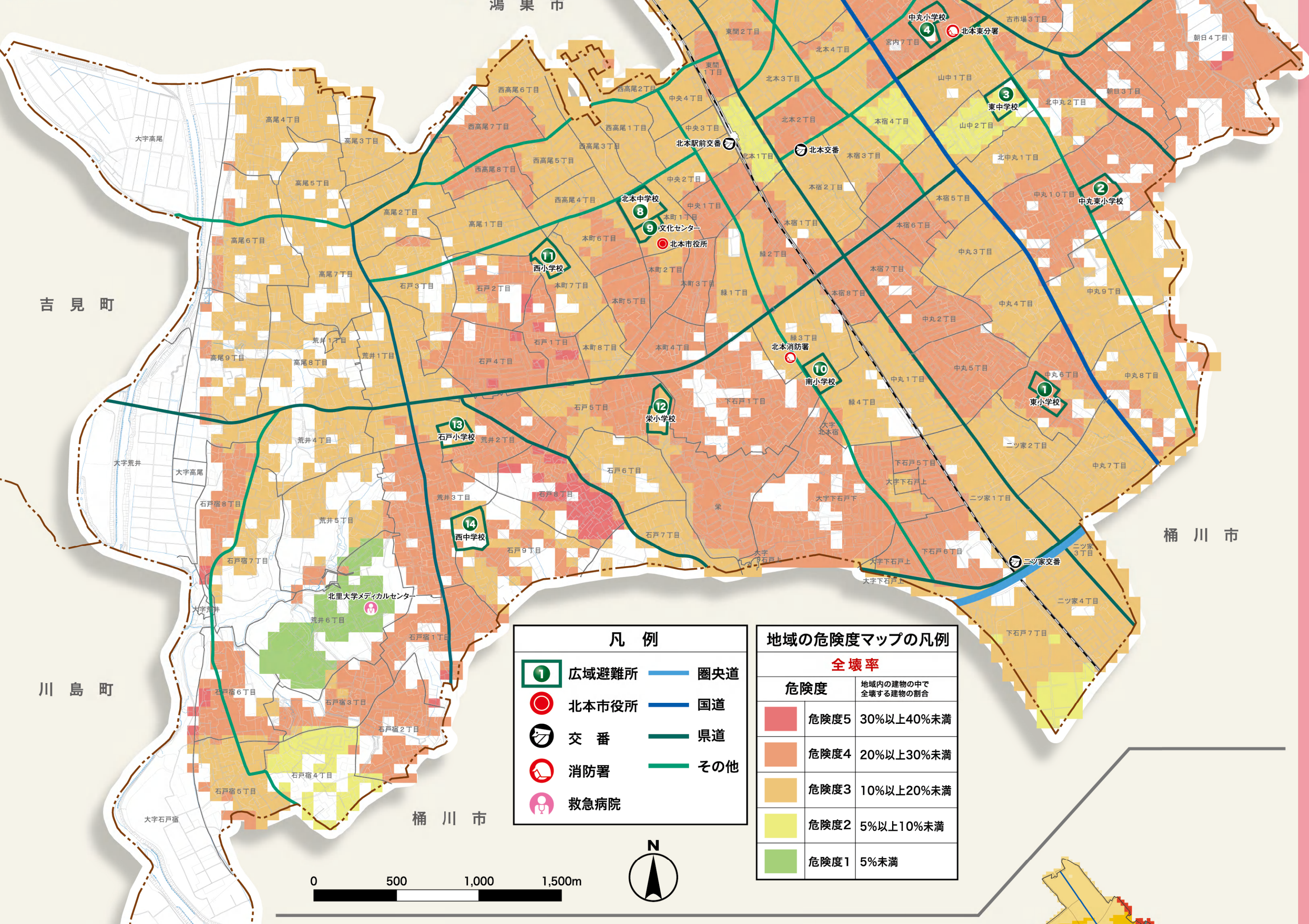
各社のWebサイトトップ画面の「災害時伝言板」を選ぶ → 登録を選ぶ → 残したいメッセージの項目を選ぶ(コメントも入力可能) → 登録を選ぶ → 確認を選ぶ → 相手の携帯電話を入力 → 確認を選ぶ

地震における地域の危険度マップ

地震における地域の危険度マップとは「想定震度分布図」で示された震度と建物構造(木造・非木造)、建築年次別の建物棟数(平成28年1月1日現在)から全壊の割合(全壊率)を算出し、50mメッシュ毎に5段階の危険度として示したものです。

広域避難所

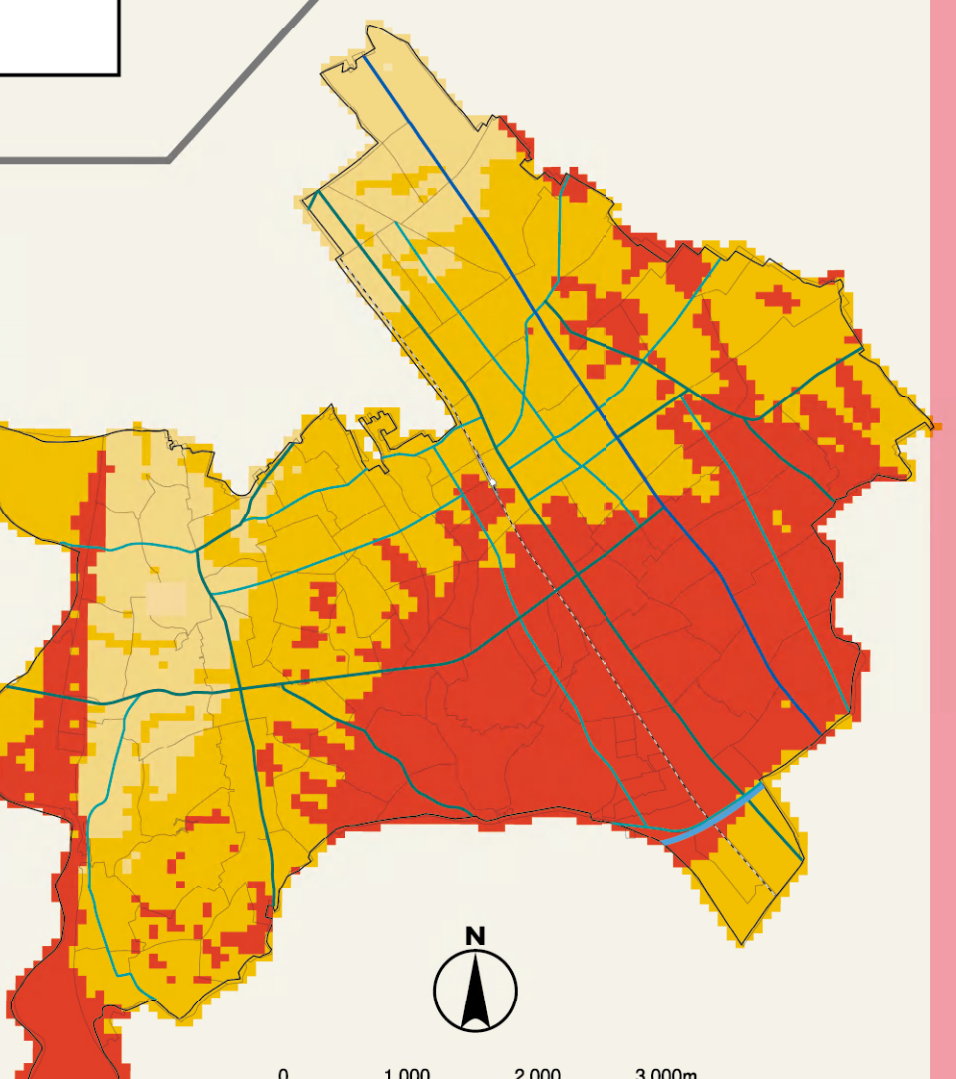
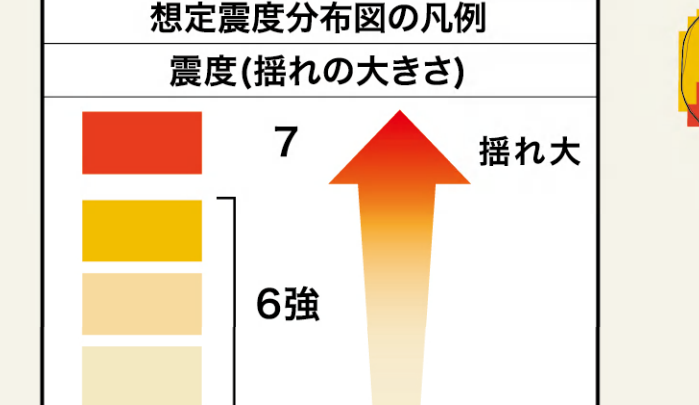
区分	施設名	住所	避難対象地域の目安
1	東小学校	中丸6-65	中丸6・7丁目、ニツ家1~4丁目、ハイデンス、マリオン、ニツ家団地
2	中丸東小学校	中丸10-270	中丸1~5・8・9丁目、東3
3	東中学校	山中2-128	本宿1~8丁目、山中1・2丁目、東4
4	中丸小学校	宮内7-145	北本1~4丁目、宮内1丁目、東11・19
5	体育センター	古市場1-156	東7・8・9、ワコーレ
6	宮内中学校	宮内4-322	東間1~4丁目、宮内2・3丁目、東10、アトレ
7	北小学校	深井4-45	東間5~8丁目、深井第1~第3、サンマンション、スカイハイツ
8	北本中学校	本町1-1-1	中央3・4丁目、西高尾1~3・5~7丁目
9	文化センター	本町1-2-1	本町1~4丁目、中央1・2丁目、緑1・2丁目
10	南小学校	緑3-387	東5・22、台原、西2、三菱、京王、南団地、東原団地
11	西小学校	本町7-3	本町5~8丁目、西高尾4・8丁目、西19
12	栄小学校	栄1	栄1~5、グリーンハイツ
13	石戸小学校	荒井2-320	西4・5・11・14・16・17-1・17-2・18、第3チサン
14	西中学校	石戸9-210	西3・6~10・12・13・15・20、ハイタムタウン、アースドリーム



地震ハザードマップ

想定震度分布図

想定震度分布図とは北本市において被害が最も大きくなると想定される関東平野北西縁断層帯地震(想定マグニチュード8.1、破壊開始点:南)の発生を想定し、地域の地盤の状況から、地域の地表の揺れを震度として評価して、50mメッシュで表現したものです。



震度と想定される被害状況

震度4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。
- 自動車の運転が難しく、揺れに気が付く人がいる。

震度5弱

- 棚にある食器類、書類の本が落ちることがある。
- まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。
- 電柱が揺れるのがわかる。

震度5強

- 物につかまらないうつろくことが難しいなど、行動に支障を感じる。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 自動車の運転が困難となり、停止する車もある。

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造住宅では、建物が傾いたり倒れたりするものもある。

震度6強

- はわないと動くことができない。
- 固定していない家具ほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
- 耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ、亀裂がみられることがある。

震度7

- 揺れにほんろつろく、動くこともできず、飛ばされることもある。
- 固定していない家具ほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
- 耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

気象庁震度階級関連解説表より一部抜粋